

環境・景観に配慮した設計

社会資本整備は単に効率や経済性だけを求めるものではなく、人々の日常生活に長く関与するものであるからこそ、環境への配慮が不可欠です。

新幹線東広島駅前のまち「緑風彩都」では、開発区域内を流れる高尾川を環境づくりに活かし、緩やかな勾配が続く川辺では、水生生物が生息できる環境と、子どもたちが安心して水遊びのできる空間を提供しています。そして、この流れこそがまちの個性的な景観を形づくっています。

